

広報

社会福祉法人清豊福祉会

育ちゆく子どもの輝きを…その翼にのせて



Gosho Nursery And Children's Recreation Center

# セバスト ガチヨウ号



No.271

1月号

2026

先月の子どもたち

## 笑顔いっぱい

## みのりのこ！





## こども園便り 御所こども園

明けまして  
おめでとうございます

おめでとうございます



二〇二六年が始まりました。こども園には、今年の干支『午（うま）年』の先生が一名います！午年生まれの方は、馬のよう自由を愛し、スピード感のある決断力を持つ人が多いと言われています。本年度は残り三ヶ月、子どもたちが伸び伸びと成長できるように努めてまいります。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

様子観察

十二月六日

こども園では、年四回、臨床心理士の坂上先生に子どもたちの様子を観察していただいています。また、保護者の皆様から寄せられる『子どもの発達がゆっくりでは？』『集団の中でお友だちと仲良く遊べているのかな？』といった悩みに対して、助言をいただいています。さらに、保育者に対しても、発達を促すための関わり方や支援の方法をご指導いただいています。



## ★イルミネーション★



暗くなると『キラキラ』と灯る光に心が癒されます。子どもたちが「わあー」と喜ぶ姿に、見ている私たちも幸せな気分になります。2026年も全員が健康に過ごせますように！

（以上、主幹教諭 下窪）



## ☆マラソン大会☆

12月1日は創立記念日です。保護者の方々の「がんばれ」の声援を受け、一生懸命走りきりました。



## 給食便り

十五時の手作りおやつ

こども園では、毎日手作りおやつを提供しています。今年は園でレモンがたくさん実りました。収穫したレモンを使って、レモンケーキやレモンジャムヨーグルトを用意しました。子どもたちからは「皮がにがーい!」「レモンだけど酸っぱくない」など、様々な声が聞かれ、収穫の喜びを味わいました。



(以上、給食室 前田)

## 食の安心安全

安心安全な食器・調理器具

こども園では、子どもたちが毎日安心して給食を楽しめるよう、衛生管理を徹底しています。食器だけでなく、調理器具やおぼんも高温殺菌乾燥機を使用し、殺菌・消毒を行っています。高温で殺菌し、十分に乾燥させることで、清潔な状態を保っています。今後も、安心・安全な給食の提供に努めます。



(以上、食育向上グループ 田尻)

## 保健便り

保健指導 消化器のはたらきについて

今回は、食べた物がどこを通り、どのように形を変えていくのかを学びました。また、排便の状態から体調の変化に気づけることも知りました。

子どもたちが、消化器のはたらきに関心を持って『食べる』ことを楽しみながら、自分の体を大切にしてくれると嬉しいです。



(以上、看護師 兼廣)

## 安全便り

子どもたちの安全を守るために

職員会議で『子どもたちの安全を守る方法』について研修を行いました。不審者対応については、まず距離を確保し、避難誘導・通報などの初動を徹底することを確認しました。併せて、身近なライトや傘の活用方法も学びました。今後も、子どもたちが安心して過ごせるように取り組んでいきます。



(以上、リスクコントロールグループ 石原)



## 児童クラブ便り 児童クラブ未来

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、ご家族でどのようなお正月を過ごされたでしょうか。二〇二六年は、干支でいうと丙午（ひのえうま）の年です。火の気が重なるとされ、情熱や行動力を象徴する年ともいわれます。

昨年は、大阪・関西万博（EXPO 2025）が開催されました。実際に足を運んだ子どもたちからは、公式キャラクターのミャクミャクや各国パビリオンの話題がたくさん聞かれ、クラブでも大いに盛り上がりしました。また、流行のダンスにも挑戦し、上級生が下級生に教える姿も多く見られました。

身近な人を大切にする気持ちを土台に、世界の人々の暮らしにも思いを寄せ、さまざまな国に関心を持つて視野を広げてほしいと願っています。馬が元気に駆け回るように、子どもたち一人ひとりが自分の目標に向かって前向きに進んでいけるよう、私たちも寄り添いながら歩んでまいります。

本年もどうぞよろしく願っています。



大根の種まき



キャッチダウン

（以上、クラブ長 高崎）

### 羽ばたけ学童さん

昨年の春に入所してきた子どもたちも、あどけなさが少しずつ抜け、日々の生活の中で頼もしさも感じられるようになってきました。入所当初は慣れない宿題に戸惑う様子が見られましたが、今では集中して取り組めるようになっていきます。自由時間になると、元気いっぱい上級生の遊びの輪の中へ飛び込んできたり、時にはちよつとしたけんかになったりと、にぎやかに毎日を過ごしています。そして、それぞれの個性が互いに良い影響を与え合っています。

この時期の子どもたちは、「やってみたい」「知りたい」という気持ちが高まる頃です。また、自分の感情を少しずつコントロールできるようになっていく時期でもあります。この時期に学んだこと、身につけたことは、その子の人生の財産になります。

子どもたちには、自分の可能性に気づき、さまざまなことにチャレンジしてほしいと思います。そして私たち周囲の大人は、その思いを受け止め、積極的にサポートしていききたいものです。



（以上、放課後児童支援員 池田）

# 学童新聞

1月号

## お正月の意味は？

お正月は一年間の幸わせをもたらすためにやって来る年神様としがみさまを家ぞくみんなでおむかえする行事です。

**門松**…年神さまがさがしやすいように家の目じるしとして置いてあります。

**しめなわ**…悪い人やものが入らないようになわでバリアを作っています。

**かがみもち**…神さまへのおそなえものでもあり神さまが宿るものでもあります。

**お年玉**…もともとは年神さまにおそなえをしていたかがみもちを分け与えていたものです。



### 二〇二五年のいちばん

二〇二五年、ぼんうれしかったこと、楽しかったこと、心にのこったことをみんなに聞いてみました。

**一年生** 弟が生まれたことです。とってもかわいいです。

**二年生** ドッジボールがぼん楽しいです。あいつにボールがあたらうれいです。

**三年生** 万歩くんに行ったことが心にのこっています。

**四年生** 十才の集いのしゅう来の夢の発表がとても楽しかったです。

**五年生** タニスの発表会で宮崎に行ったことがぼん心にのこっています。

**六年生** 修学旅で三井クルーズランドに行ったことが楽しかったです。

二〇二六年もみんなが楽し一年にしましょう。

### なぜなにコーナー

①家の入口においてあるカンはなぜなに？

②食べたたんわらってしまふ食べものはなぜなに？

③ゾウが話しているよ。どんな話？

④交番にいるカンはなぜなに？

**イラストコーナー**

「うま年」いちか・ちより



ニダバサレタ④野々々⑤  
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

**「うま年」いちか・ちより**

記者 森山・長田・一氏



## おねしょは成長のしるし

# 親コラム

寒くなる季節は、子どもの『おねしょ』が気になる時期でもあります。朝、シーツが濡れているのを見ると「また…」と、ついがっかりしてしまうこともあるかもしれませんが、おねしょは体の発達と深く関係しており、多くの子どもが成長とともに自然とおさまっていくものです。子ども自身が「失敗しちゃった」と感じたときに、責めたり慌てたりせず、安心して次の夜を迎えられるように寄り添うことが大切です。おねしょは、親子で少しずつ乗り越えていく過程のひとつ。今回は、家庭でできる工夫や気持ちが軽くなる関わり方について紹介します。



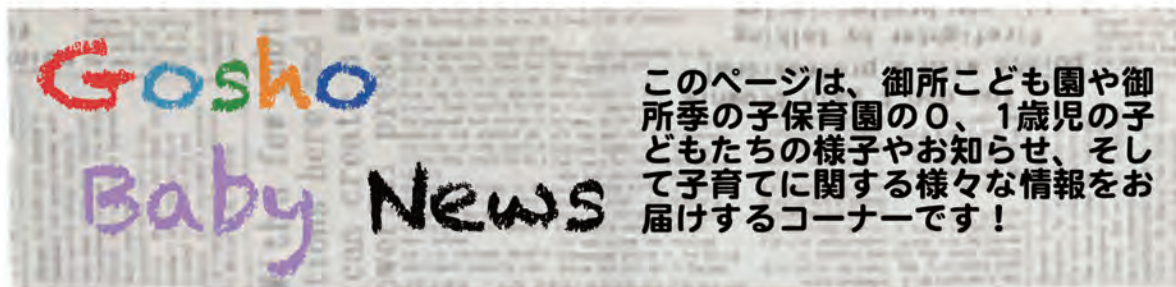
おねしょは、成長の途中では多くの子どもに見られるごく自然な現象です。寝ている間に膀胱の働きや脳の連携がまだ十分に発達していないために起こるもので、「頑張って我慢しよう」といった意志の問題ではありません。まずは、保護者の方が焦らず、気持ちを楽にして見守ることが大切です。叱ったり恥ずかしい思いをさせたりすると、子どもの自信を傷つけてしまうこともあります。おねしょをした日は「大丈夫だよ」「また次にトイレでできるといいね」と優しく声をかけ、安心できる雰囲気の中で眠れるよう心がけましょう。

生活リズムを整えたり、寝る前の水分を少し控えたりといった工夫も役立ちますが、多くの場合は成長とともに自然と落ち着いていきます。保育園でも、お子さんたちが安心して話せるように配慮しながら、家庭と一緒に心の育ちを支えています。



(以上、保育向上グループ)

## 今月の コラム



## 固結びにトライ！

子どもたちは、日々の遊びや生活の中でさまざまな動きを通して手先の力を育んでいます。今回は、袋の口を結んだり、お弁当箱を包んだりするときに使う「固結び」に挑戦する子どもたちの姿や取り組みの様子をご紹介します。



①紐を交差させる



②輪をつくる



③ぎゅっと引っばる

ほとんどの子どもが、途中で紐がほどけてしまったり、手の位置がわからなくなったりしていました。それでも少しずつできるようになると、「もう一回やってみる！」と何度も挑戦する姿が見られました。



紐結びは、大人が思う以上に複雑で、難しさを感じる子も少なくありません。それでも、繰り返し挑戦する中で、少しずつ動きが上がり、「できた！」と嬉しそうに見せてくれる瞬間が増えていきます。園では、日々の遊びの中でも指先を使う経験を重ね、無理なく楽しみながら身につくよう、子どもたち一人ひとりの姿を見守っていきます。

(以上、環境グループ)



## 保育園便り 御所季の子保育園

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、子どもたちはそれぞれのペースで園生活を楽しんでいます。今年は、一人ひとりの興味や『やってみたい』という気持ちをより丁寧に受け止め、その挑戦を応援する一年にしていきたいと思います。冬の遊びを取り入れながら、子どもたちと一緒に元気に過ごしていきたい。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



### 交通安全教室 十二月三日

園では交通安全教室を実施し、信号の見方や横断歩道の渡り方を学びました。実際に歩く練習では、子どもたちが「右を見て、左を見て」と声に出しながら確認する姿が見られました。日々の散歩や登降園時にも生かせる、大切な学びとなりました。



(以上、保育士 諸隈)

### 健康便り

冬の感染症について

冬は気温が低く乾燥するため、風邪・胃腸炎・インフルエンザ・RSウイルスなど、さまざまな感染症が増える季節です。園では、次のような対策を行っています。

園での感染予防

- ・手すり、ドアノブ、玩具などの共用部分を消毒する
- ・加湿器を使い、室内の湿度を四十〜六十%に保つ
- ・こまめな換気（一〜二時間ごとに数分程度）を行う
- ・手洗い指導を行い、指先・指の間・手首まで石けんでしっかりと洗う
- ・咳が出るときは、腕の内側で口元をおさえるよう伝える

家庭で取り組めること

- ・朝の検温を行い、体調の変化を早めに確認する
- ・下痢・嘔吐・発熱・咳がある場合は、無理をせず休養する
- ・タオルやハンカチを持参し、こまめな交換を心がける
- ・十分な睡眠とバランスのよい食事で抵抗力をつける

園とご家庭が協力して取り組むことで、感染拡大をしっかりと防ぐことができます。みんなで体調に気をつけながら、寒い季節を元気に過ごしていきたいでしょう。(以上、保育士 稲留)





## 給食便り

給食室の栄養管理について

給食室では、子どもたちが毎日元気に過ごせるよう、次のような取り組みを行いながら栄養管理をしています。

- ① 年齢ごとの必要量に合わせた献立づくり
- ② 季節に合わせた食材選び
- ③ 噛む力に合わせた調理の工夫
- ④ アレルギーへの丁寧な個別対応

また、かぼちゃやさつまいもなど旬の食材を使ったメニューや、節分・ひな祭り・十五夜などの行事食を取り入れることで、「今日のご飯は何か？」と食事が楽しみになるように工夫しています。これからも、安心して食べられる環境づくりとおいしく楽しい給食を通して、子どもたちの健やかな成長を支えていきます。



十二月の献立より パイナップルプケーキ



### 【材料】

- ホットケーキミックス……………七五<sub>g</sub>
- 卵……………三八<sub>g</sub>
- 牛乳……………六五<sub>g</sub>
- 油……………一八<sub>g</sub>
- パイン缶……………七五<sub>g</sub>
- クリームチーズ……………二三<sub>g</sub>

### 【下準備】

- ・ クリームチーズと卵は常温に戻しておく
- ・ パイナップルを四分の一程度にカットしておく
- ・ オーブンを一八〇度に予熱しておく

### 【作り方】

- ① クリームチーズを、なめらかになるまでホイップパーで練る。
- ② ①に溶きほぐした卵を入れて混ぜる。
- ③ ②に牛乳を加えて混ぜ、ホットケーキミックスを入れて混ぜる。
- ④ ③を型に流し入れて、カットしたパイナップルを上にはらぐ。
- ⑤ ④をオーブンで二二〜一五分ほど様子を見ながら焼く。
- ⑥ 串を刺して生地が付かなければ完成です。

(以上、栄養士 川田原)





# 御所季の子保育園のおともだち

ホッと  
スナッ  
プコー  
ナー





## 室内あそびでは工夫がいっぱい！

季節が進み、室内で過ごす時間が少しずつ増えてきました。子どもたちは積み木やままごと、お絵描きなど、それぞれの好きな遊びに夢中になっています。遊びの中には、指先を使った工夫や友だちとのやりとり、思いついたことを試してみる姿など、子どもたちの成長が随所に表れています。今回は、そんな室内遊びの様子を通して、子どもたちの姿や小さな成長の物語をお届けします。



### ブロックあそび

3歳以上児クラスでは、ブロックで『家づくり』を楽しむ姿が見られました。子どもたちは、まず床や壁になるパーツを組み合わせ、倒れにくいよう土台づくりから取りかかります。「安定感が欲しい！」「窓はこっちがいい？」と友だち同士で相談しながら、部屋の配置を考える真剣な表情が印象的でした。



### ままごとあそび

3歳未満児クラスでは、ままごとあそびが盛り上がっています。鍋やお皿を手に取ると、「ジュージュー」と言葉やしぐさを真似しながら、ごっこ遊びの世界へ入り込んでいきます。ブロックを食べ物に見立てたり、大きさや形を確かめてお弁当箱に詰めたりと、一人ひとりの工夫があふれています。



倒れないように、バランスを取りたい



丸いブロックがお団子みたいでしょ



羽をたくさんつけたら  
いっぱい飛べるかも

(以上、保育士 岩井迫)

## 延長保育(特別保育事業) ～家庭と保育園で育ちを支える～

当園では、特別保育事業の一環として21時までの延長保育を実施しています。保護者の仕事と育児の両立支援、経済的な安定、時間的な余裕が生まれることでストレスの軽減に繋がり、子育てを楽しむ時間が生まれます。就労時間が遅くなるご家庭や、急な用事が入った際などにも、安心してご利用いただけます。短時間でも利用しやすい保育として、ご家庭での子育てに役立てていただいています。ご利用される時間帯、おやつや夕食の提供の有無により利用金額が変わりますので、詳しくはお気軽にお問い合わせください。



### おやつ・夕食の時間

延長保育では、利用時間に合わせておやつや夕食の時間を設けています。少人数ならではの落ち着いた雰囲気の中で、友だちや保育者と一緒に「いただきます」「おいしいね」と会話を楽しみながら、家庭的な食事の時間を大切にしています。園で温かい食事をゆっくりととることができるので、帰宅後すぐに食事の準備をする負担が軽くなり、保護者の方にとっても大きな安心につながっています。



### お迎えまでの時間

おやつや食事の後は、保育者と一緒に絵本を読んだり、静かな遊びをしたりしながら、自然と心がほぐれるゆったりした時間へと移ります。眠くなる子どもには、休息スペースを準備します。一人ひとりのペースに合わせて、お迎えまでの時間を安心して過ごせるように、丁寧に見守っています。



(以上、保育向上グループ)



小学生のわが子を見守りながら、成長とは本当に不思議なものだと感じています。身長はどんどん伸びるのに、机の上は相変わらず散らかったまま。夜遅くになってから片付けが始まり「宿題をする」と言いつつ、気付けばお菓子を食べながらドラマを見ていることも……。思わず「今、それじゃないでしょ」と言ってしまうこともあります。そんな中、帰宅が遅くなった日には、洗濯物や食器がきれいに片付いていることがあります。ふとした瞬間に見える頼もしさに、成長を実感します。日々、家族でドタバタできるのも今だけの幸せ。ため息と笑いを行き来しながら、子どもたちの育ちに寄り添い、今年もにぎやかに過ごしたいと思います。

(岩井 迫)

編集後記